

楽器を知ろう

ピアノ

ピアノは、鍵盤を押すことで音が出る、とても美しい音色を持つ楽器で、数ある楽器の中でも特に有名な楽器の一つです。白と黒の鍵盤がほぼ交互にならんでいて、それぞれの鍵盤を押すと、異なる高さの音が出るため、いろいろなメロディーや和音を演奏することができます。

ピアノには大きく分けて「グランドピアノ」と「アップライトピアノ」の二つの種類があります。グランドピアノは、音の響きが豊かで、大きなホールやコンサート会場でよく使われる、横に長い形のピアノです。アップライトピアノは、グランドピアノよりも小さく、家庭などでも楽しめる縦型のピアノです。また、デジタル技術の発展により電子ピアノも広く使われるようになってい

ます。1人で旋律も伴奏も演奏することができたり、1台のピアノを2人で演奏する連弾ができるなど、いろいろな演奏方法があります。指先を使ってさまざまな表現ができ、「手のひらで感じる音楽の強弱やニュアンス」は、ピアノを使って音楽を表現する際の重要な手段の一つです。

演奏を重ねるごとに、少しずつ上達を感じられるので、楽しみながら長く続けていくことができる楽器です。ぜひ、ピアノの音色を楽しんでみてくださいね。

(県吹奏楽連盟監修)



りんごの音符

僕らにとってピアノを弾くのは、食事を消化し話したりするのと同じ感覚です。ピアノを弾かない自分の記憶はありますか。気がついたときには弾いてま



くよこやま・ゆきお 「青い海と森の音楽祭」特別顧問（こもん）。1971年、東京都生まれ。第12回ショパン国際（こくさい）ピアノコンクールで日本人として歴代（れきだい）最年少入賞（にゆうしょう）。2010年、ショパン生誕200年を記念した14時間に及ぶ演奏会でギネス世界記録に認定（にんてい）、翌年（よくとし）記録を更新（こうしん）。日本パレテラスキ協会会長

ピアノ 横山 幸雄さん（東京都出身）

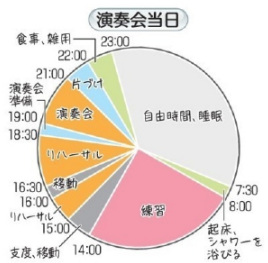
食事や会話と同じ感覚

た。周りが言うには、始めたのは5歳。母がピアノの先生で、習いに来る友達の様子を見て自分もやるのになって思ったみたい。時間があればレコード、録音機から聴く、みたいな。無意識だけど、頭の中には常にクラシック音楽が流れていて、それは今も変わっていません。これまで将来の職業を考えたことはないけど、ピアノリスト以外に道なかったように思います。周りの誰よりも弾けていたし、ピアノ

が密接につながっていることがわかってきます。知識が増えたと、音楽に対して感じるものや見え方が変わっている。それを伝えたくて企画しました。どちらにも演奏内容を奏えながら毎年続けています。何時間も練習し続けるのは、簡単なとは言わないけど大変だとも思わなかった。いい音楽を届けられるように準備するのが一番大変なんです。準備しているのは練習すること。音楽家として一番エネルギー

を使う場面だから、2時間の演奏会でも特に変わらないと思います。僕のスケジュールは毎日バラバラ。特別なルーティンもありません。寒い日は指を動かしてストレッチするくらいかな。ただ、ピアノを置いている部屋は36度5日24時間、湿度65%、温度45%に保ちます。それがピアノにとって良い環境だから、自分のピアノもよく触ります。誰が強いかで音が

が変わるからね。大きなり サイタルにも自分のピアノを持っていきます。青森の思い出は、20歳の頃にやったデビューアルバム。全国各所を巡っていて、青森で演奏していろいろに発熱してしまっ。病院にお世話になりました。それで気が落ち着いてツアー続行。あどきの病院がまだあるから分らないけど、何を言いたかと言いつても、青森の人は優しくしてもらったところだと思います。



3月に神奈川県で開かれたリサイタルでピアノを弾く横山さん。ピアノの中には何本も弦が張られており、豊かな音色を作り出す

音楽家は1回きりの演奏会が多いですが、来月から始まる「青い海と森の音楽祭」には中心メンバーとして関わっているし、青森という同じ場所でも毎年お会いしたいという思いがあります。地域の人の交流が楽しくなっています。僕にとって音楽は会話です。互いに知ることで深まるものがあるはず。青森の子を大切に育むことに僕も貢献したい。僕もよく頑張りたい。ピアノを通して、音楽のすばらしさを伝えたい。 ※今回は6月15日に掲載予定です。

2025年6月30日～7月6日 県内で第1回「青い海と森の音楽祭」が開かれます